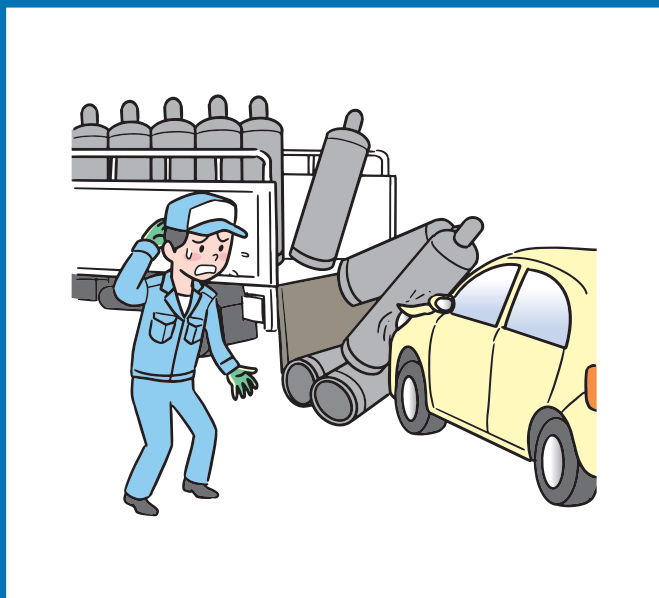


L P ガス事業者の 賠償事故事例集

(令和4年版)



目次

①	はじめに	1
1.1	目的、趣旨	1
1.2	本資料の特徴	1
②	【全体編】賠償事故の実態について	2
2.1	L P ガス事故の発生状況	2
2.2	賠償事故の発生状況	4
③	【作業別編】作業別の賠償事故の特徴と事例	9
3.1	容器搬送作業	10
3.2	消費設備関連作業	14
3.3	供給設備関連作業	17
3.4	点検・調査関連作業	20
3.5	L P ガススタンド関連作業、その他	23

本資料は、一般財団法人全国L P ガス保安共済事業団が取り扱っているL P ガス事業者賠償責任保険に加入されているL P ガス販売事業者、配送事業者、受託認定保安機関及びL P ガススタンド（以下、「L P ガス事業者」とします。）を対象として作成しています。

※この事例集は、一般財団法人全国L P ガス保安共済事業団のホームページ (<http://www.lpghoan.or.jp/>) に掲載しています。

1

はじめに

1.1 目的、趣旨

事業団が収集している『L P ガス事故』は年間約700件あり、そのうち「L P ガスの漏えいのない事故（事業者の過失）」が95%以上と大部分を占めています。次いで「L P ガスの漏えいに起因する事故（消費者の過失等）」、「L P ガスの漏えいに起因する事故（事業者の過失）」となっています。

“事業者の過失による事故”のうち「L P ガスの漏えいに起因する事故」については、人身や建物等に大きな被害を生じる可能性がある事故であり、当然のことながら減らしていかなければなりません。また、“事業者の過失による事故”のうち大部分を占める「L P ガスの漏えいのない事故」は、軽微な事故に該当しますが、ガス爆発やガス漏れ事故に至る可能性がある潜在事故も含まれます。これらの事故を減らすことが、ガス爆発やガス漏れ等の重大事故を減らすことにつながります。

そこで、実際に発生した賠償事故をL P ガス事業者の皆様にごフィードバックすることで、事故の内容や教訓を共有し、事故軽減につながることを願い、この冊子をまとめました。本資料は、令和元年に作成した事例集を、最近の賠償事故を対象としてリニューアルしたものです。

L P ガス事業者の皆様にご気づきや、安全指導及び勉強会等の一助となり、賠償事故が軽減することを期待するものです。

1.2 本資料の特徴

本資料は、過去3年間のL P ガス事業者賠償責任保険で事業団が取り扱った賠償事故について、事故の傾向分析から得られた結果に基づいて作成した事故事例集です。

【全体編】として、賠償事故の実態を把握するため、各種視点での分析を行いました。

【作業別編】として、作業ごとの特徴と典型的な事故事例をまとめました。

2

【全体編】賠償事故の実態について

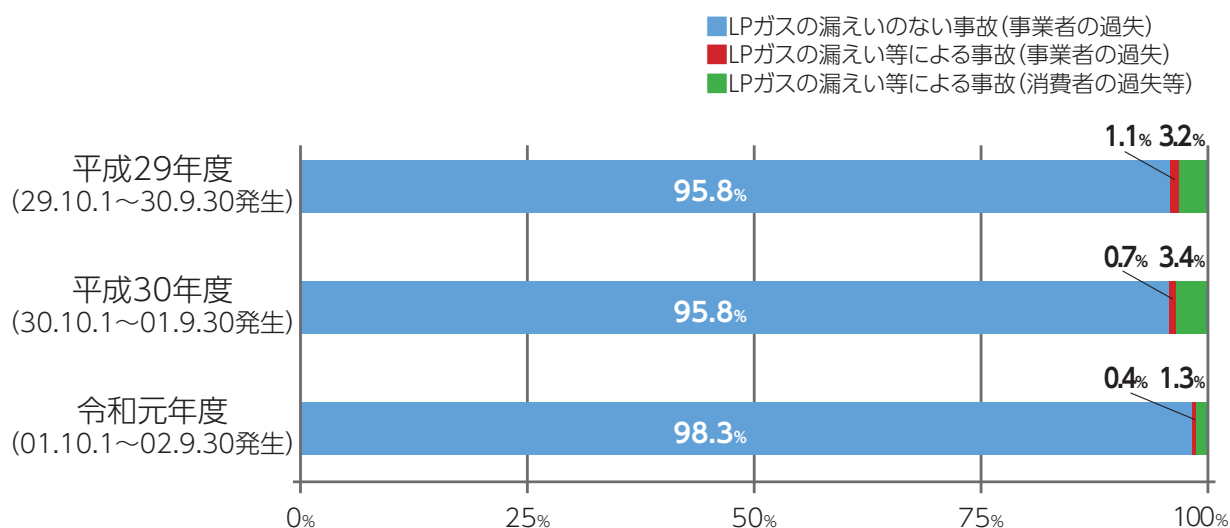
LPガス事業者による賠償事故（LPガス事業者賠償責任保険が対象とする事故）は軽微な事故が多いものの、中には人身事故（傷害）や高額損害も発生しています。

賠償事故を軽減するために、まずは実態を正しく把握することが重要です。

2.1 LPガス事故の発生状況

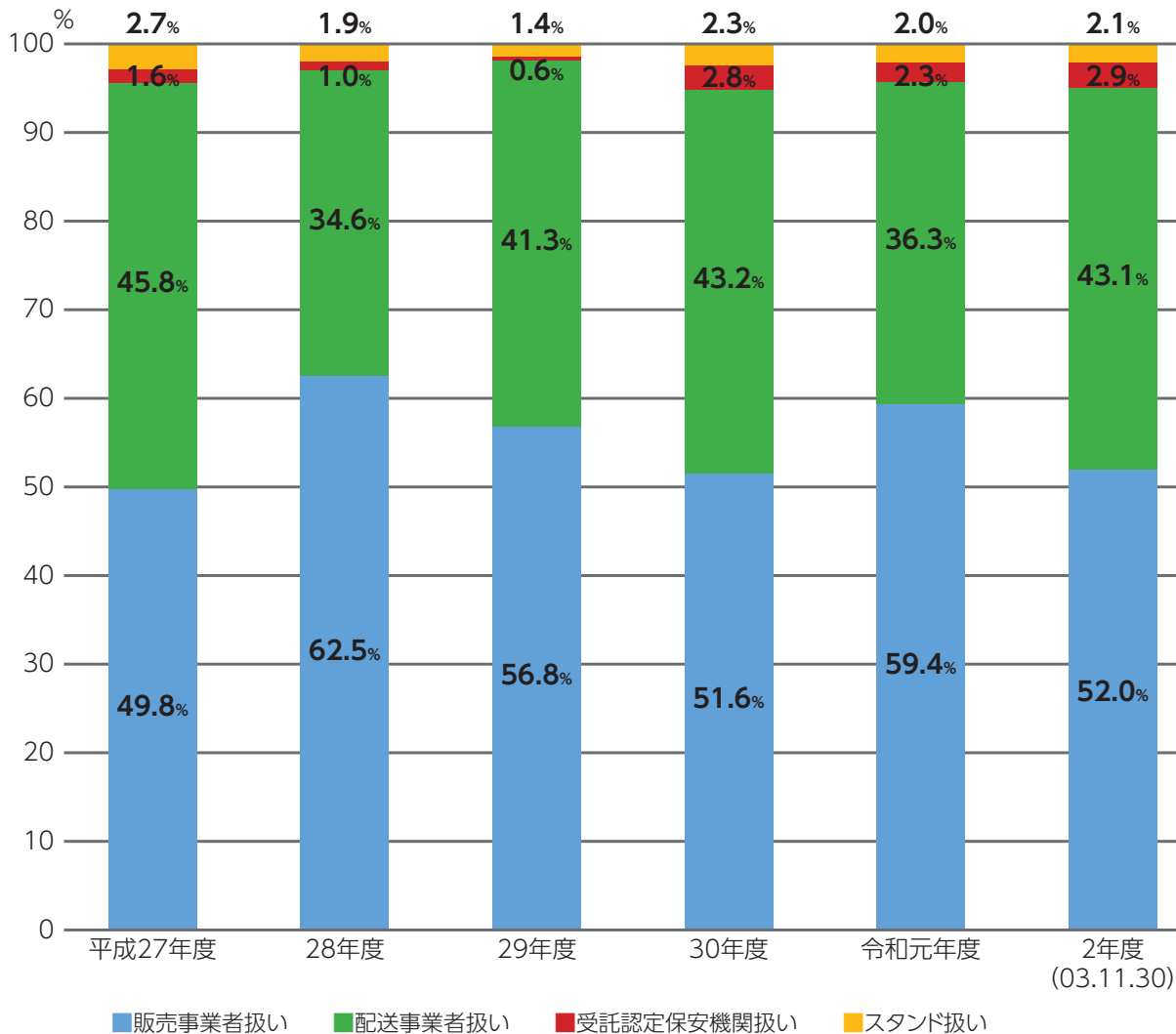
LPガス事故のうち、「LPガスの漏えいのない事故（事業者の過失）」が95%超と大部分を占め、次いで「LPガスの漏えい等による事故（消費者の過失）」、「LPガスの漏えい等による事故（事業者の過失）」となっています。

要因別のLPガス事故の発生割合



LPガス事故のうち「LPガスの漏えいのない事故（事業者の過失）」について取扱事業者区別に事故発生の割合をみると、ガス販売事業者扱いの事故が最も多い一方で配送事業者扱いの事故も半数近くに上っています。

LPガスの漏えいのない事故（事業者の過失）
事故件数の取扱事業者区別割合の推移（％）



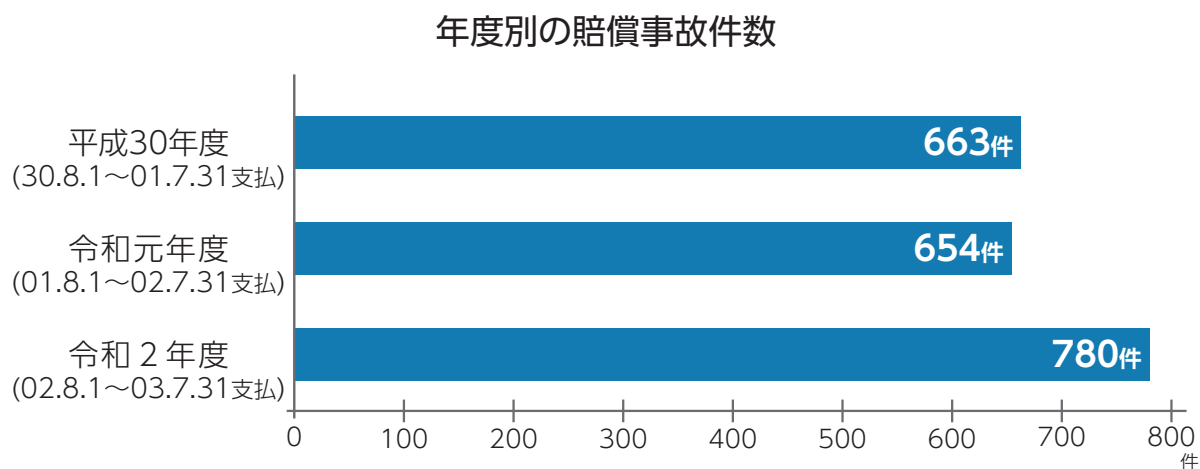
LPガス事業者の過失による事故を軽減することは、事業者による賠償事故の軽減につながります。大半を占める「LPガスの漏えいのない事故」は、周辺の環境などに悪条件が重なると大事故にも発展するおそれがあることから、事故軽減に努めることが重要です。

2.2 賠償事故の発生状況

3年間（平成30年8月1日～令和3年7月31日）に事業団が取り扱った2,097件の賠償事故について、様々な分析を行いました。まずはどのような事故が発生しているか、その実態を見ていきましょう。

2.2.1 賠償事故の発生状況

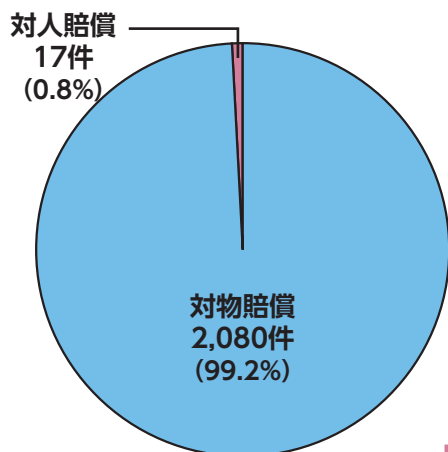
次のグラフは、全国のLPガス事業者賠償事故の件数を年度ごとに示しています。平均すると毎年約700件の賠償事故が発生しています。



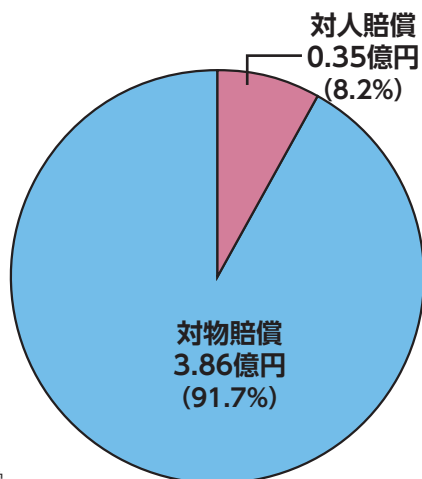
2.2.2 賠償事故の種類

賠償事故の種類には、他人の身体に損害を与える対人賠償事故と、財物に損害を与える対物賠償事故があります。以下の統計のように、事故報告があった全2,097件のうち、対物賠償事故が2,081件（99.2%）と圧倒的に多い傾向にあります。

賠償事故種類別の件数と割合 (2,097件中)



賠償事故種類別の金額と割合

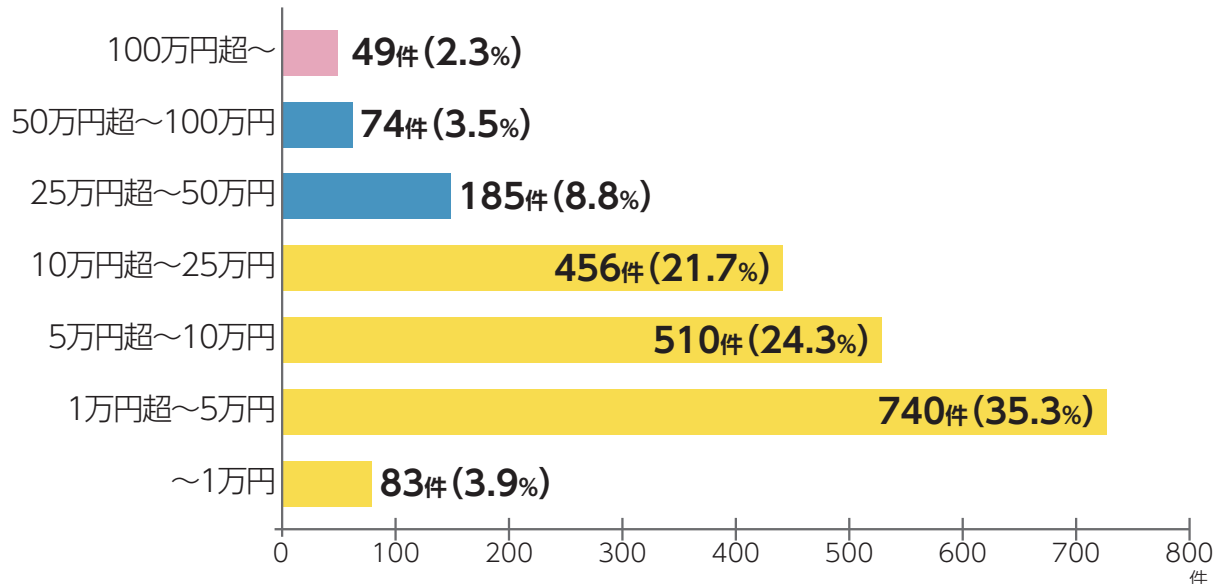


■ 対人賠償 ■ 対物賠償

2.2.3 賠償金額の支払状況

一事故に支払う賠償金額は、1万円超～5万円が最も多く、25万円以下で1,789件（85.3%）と全体の85%を占めており、比較的少額の損害が多発している傾向にあります。一方、100万円超の比較的高額な損害は49件（2.3%）発生しています。

金額帯別の賠償事故件数

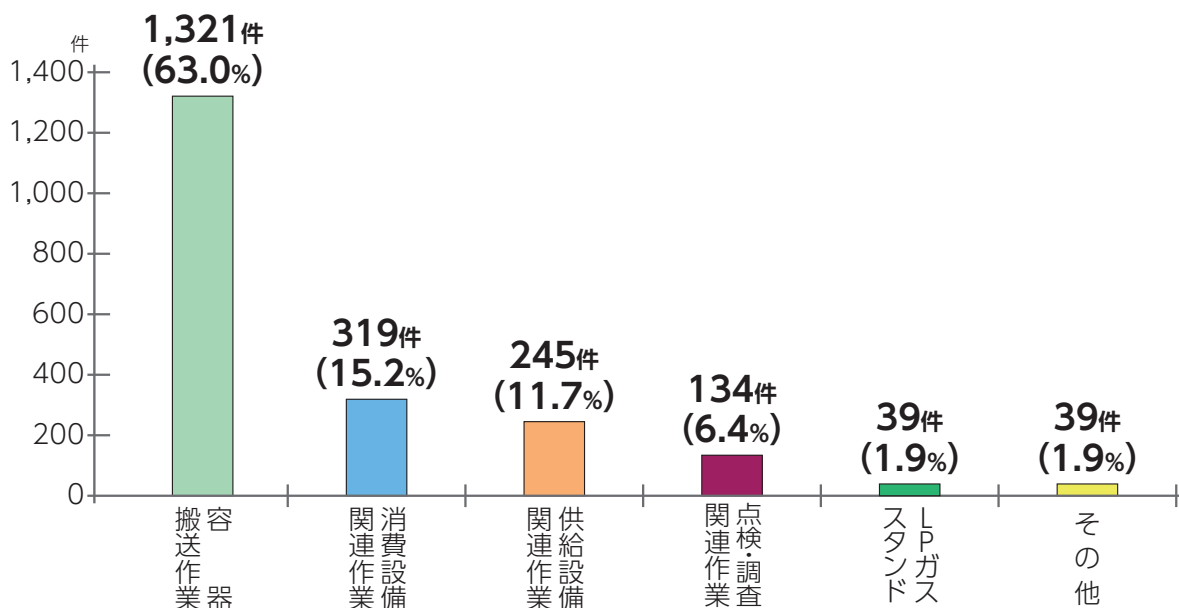


2.2.4 作業別でみた賠償事故の発生状況

作業別の賠償事故の発生状況について、事故件数や賠償金額から見ていきましょう。

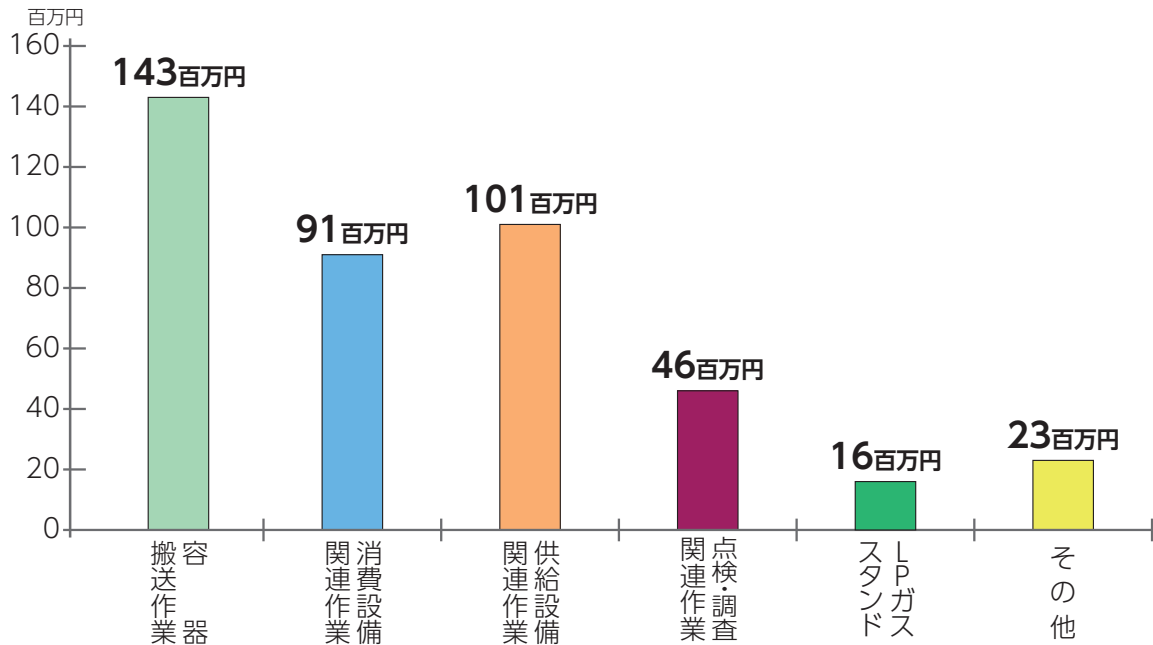
作業別の事故の発生件数をみると、3年間の賠償事故2,097件のうち、容器搬送作業が最も多く、次いで消費設備関連作業、供給設備関連作業の順でした。上位3作業で1,885件（89.9%）と約9割を占めています。

作業別でみた賠償事故の発生状況(事故件数)



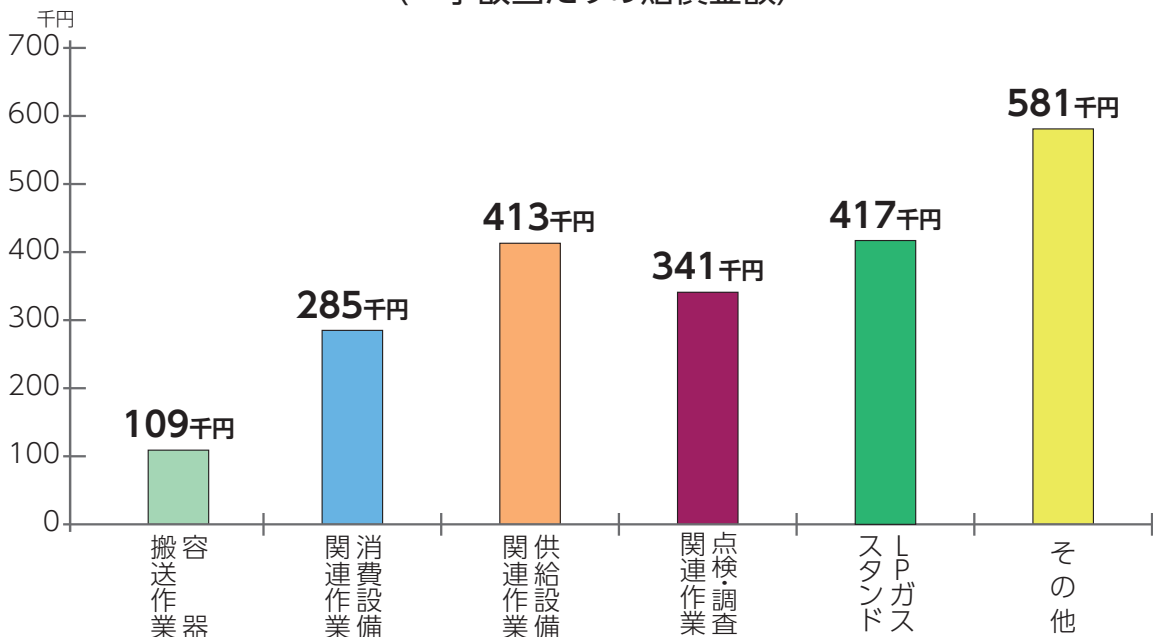
作業別の賠償金額をみると、3年間で支払われた合計賠償金額のうち、容器搬送作業が最も多く、次いで供給設備関連作業、消費設備関連作業の順でした。上位3作業で79.8%と約8割を占めています。

作業別でみた賠償事故の発生状況(賠償金額)



一事故当たりの賠償金額をみると、LPガススタンド関連作業、供給設備関連作業が多く、次いで点検・調査関連作業、消費設備関連作業の順でした。

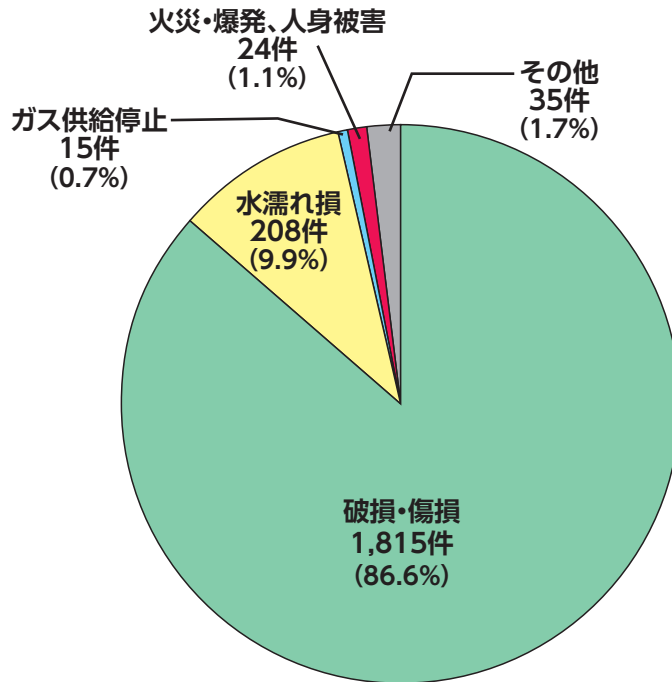
作業別でみた賠償事故の発生状況
(一事故当たりの賠償金額)



2.2.5 被害別でみた事故発生状況

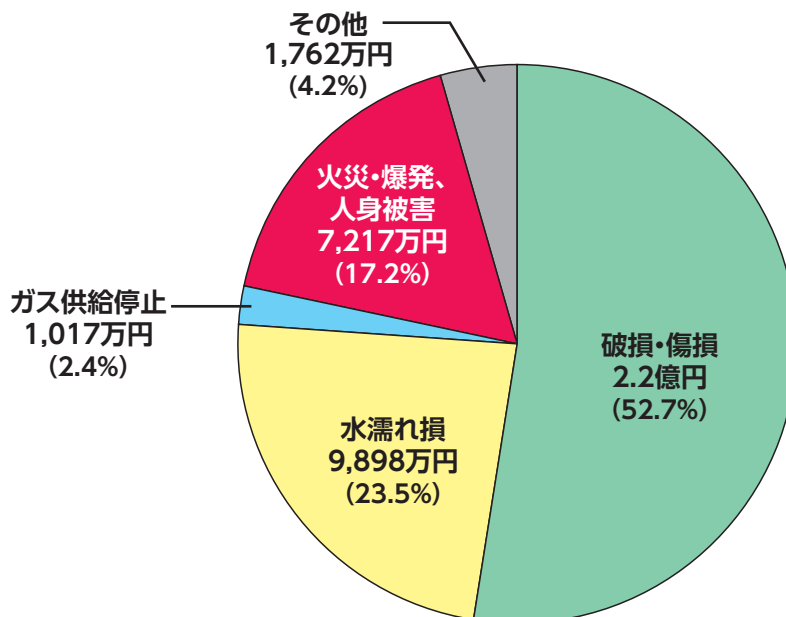
被害別の事故発生状況をみると、破損・傷損が1,815件（86.6%）で最も多く、次いで水濡れ損、火災・爆発・人身被害、ガス供給停止の順となっています。

被害別の事故発生件数



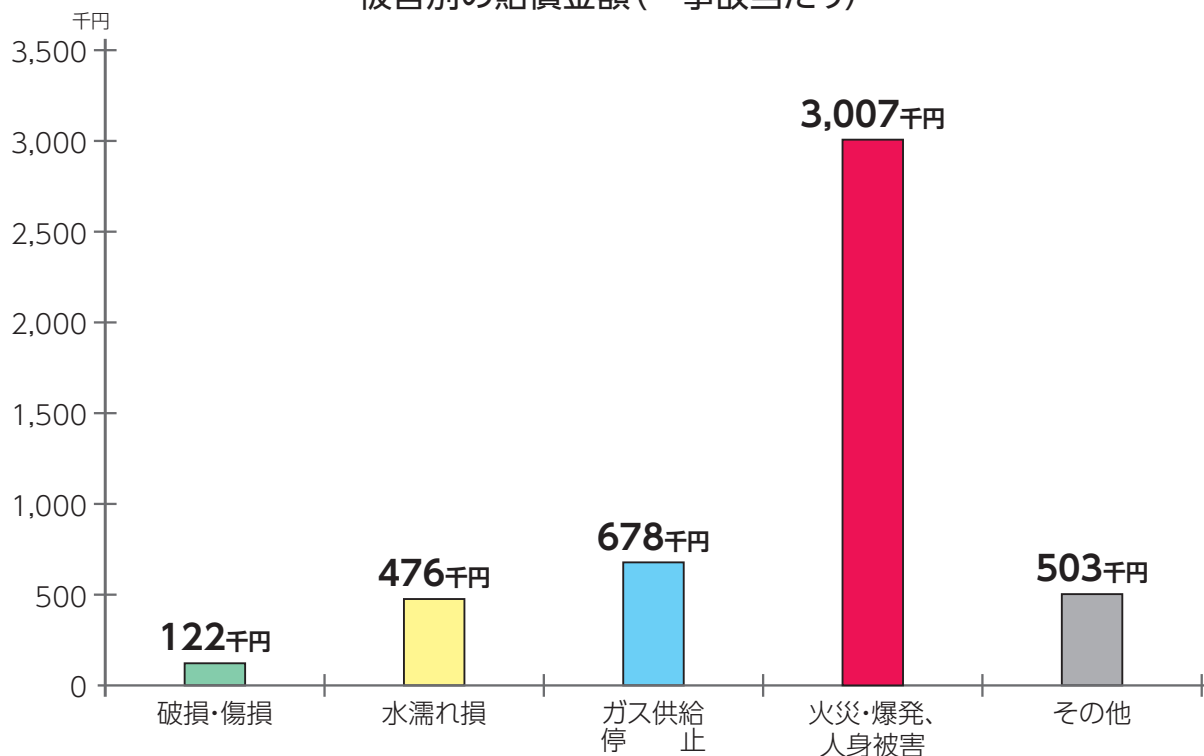
被害別の合計賠償金額をみると、破損・傷損が2.2億円（52.7%）で最も多く、次いで水濡れ損、火災・爆発・人身被害、ガス供給停止の順となっています。

被害別の合計賠償金額



一事故当たりの賠償金額をみると、火災・爆発・人身被害が最も大きく、次いでガス供給停止、水濡れ損の順でした。

被害別の賠償金額（一事故当たり）

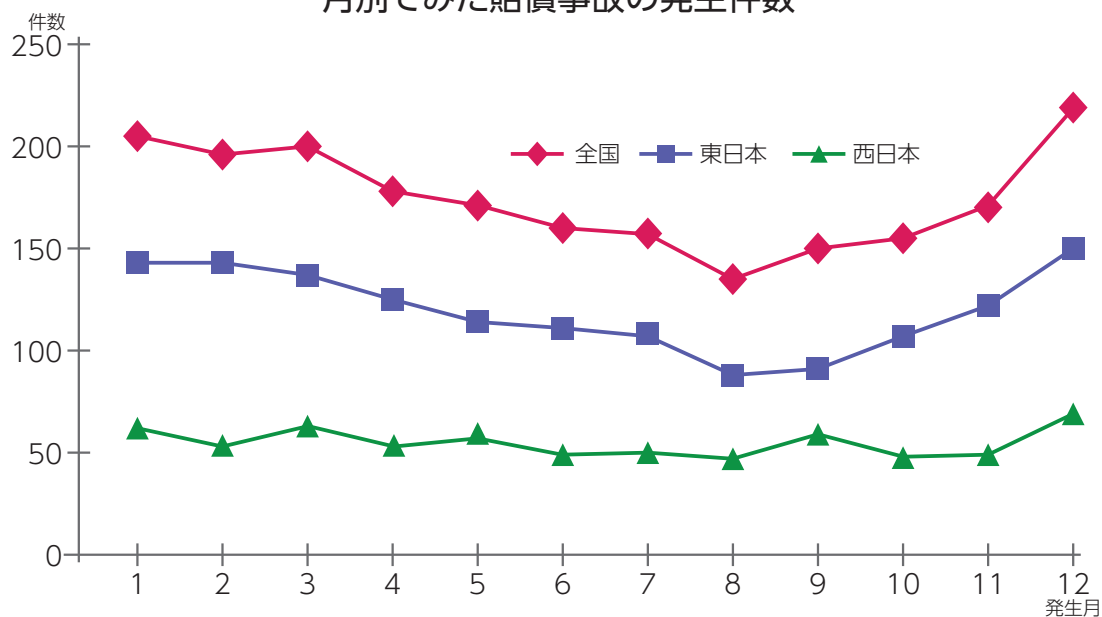


2.2.6 月別の事故発生状況

3年間に発生した賠償事故について、発生月別の件数を見ていきましょう。

12月から3月までの4か月間は、ガスの使用量が多いこともあり、容器搬送作業等の回数が増えるため、他の月よりも賠償事故の発生件数が多い状況です。

月別でみた賠償事故の発生件数



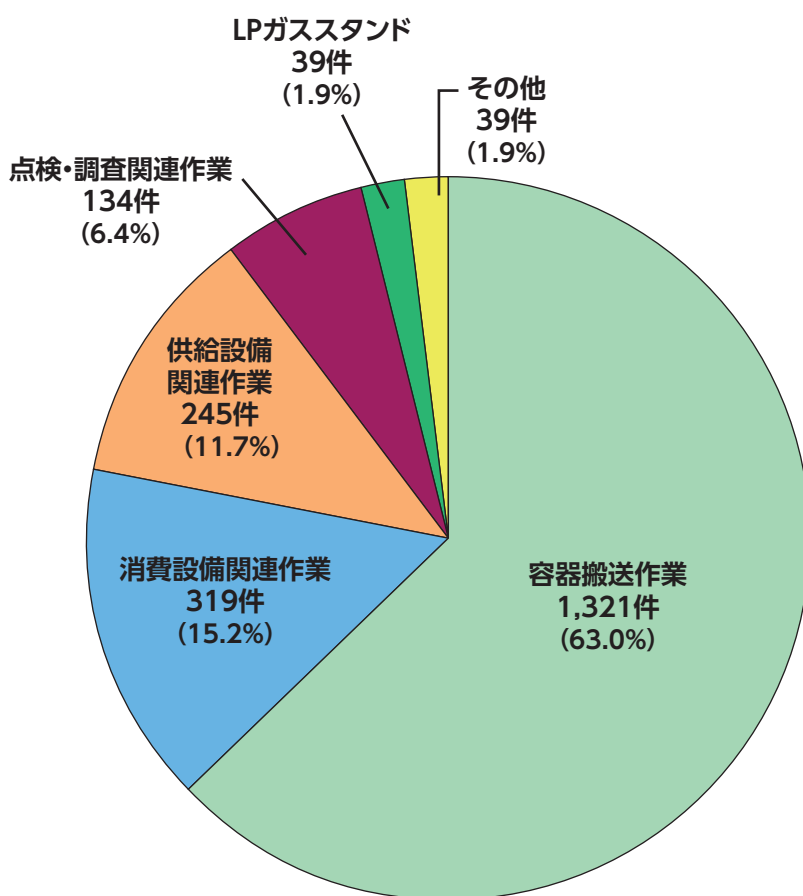
3

【作業別編】 作業別の賠償事故の特徴と事例

賠償事故の特徴・事例を次ページ以降で説明します。

作業別に事故発生状況（件数）をみると、容器搬送作業が全体の63.0%を占めており、次いで消費設備関連作業（15.2%）、供給設備関連作業（11.7%）、点検・調査関連作業（6.4%）、LPガススタンド関連作業（1.9%）の順となっています。

次ページからは、これらの作業ごとに、作業工程に着目した特徴・事例を示しています。



3.1 容器搬送作業

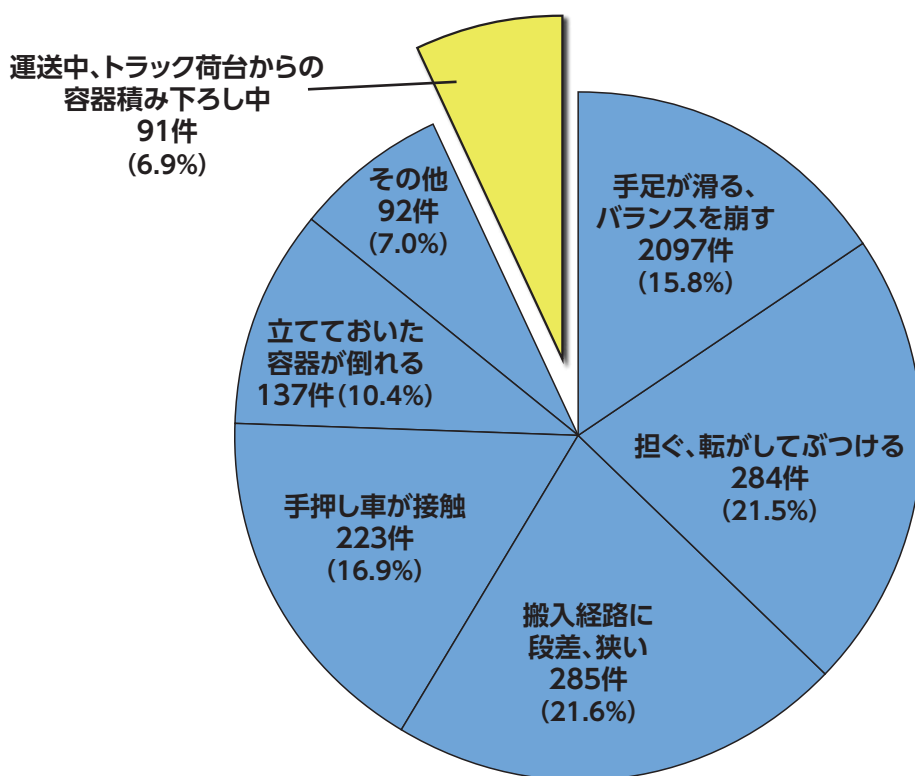
容器搬送作業において賠償事故が最も多く発生しています。賠償金額は比較的少額ですが、悪条件が重なると大事故につながるおそれがあります。ルールの遵守や事故事例を踏まえた対応等が重要です。

3.1.1 容器搬送作業の事故概要

容器搬送作業における事故の大半（93.1%）は、お客様の敷地で容器運搬中に発生しています。残りの6.9%は運送中、トラック荷台からの容器積み下ろし中に発生しています。

お客様の敷地で容器運搬中の事故原因では、「搬入経路に段差、狭い」（21.6%）、「担ぐ、転がしてぶつける」（21.5%）が多く、次いで「手押し車が接触」（16.9%）「手足が滑る、バランスを崩す」（15.8%）、「立てておいた容器が倒れる」（10.4%）の順となっています。

容器搬送作業における事故
原因別(1,321件中)

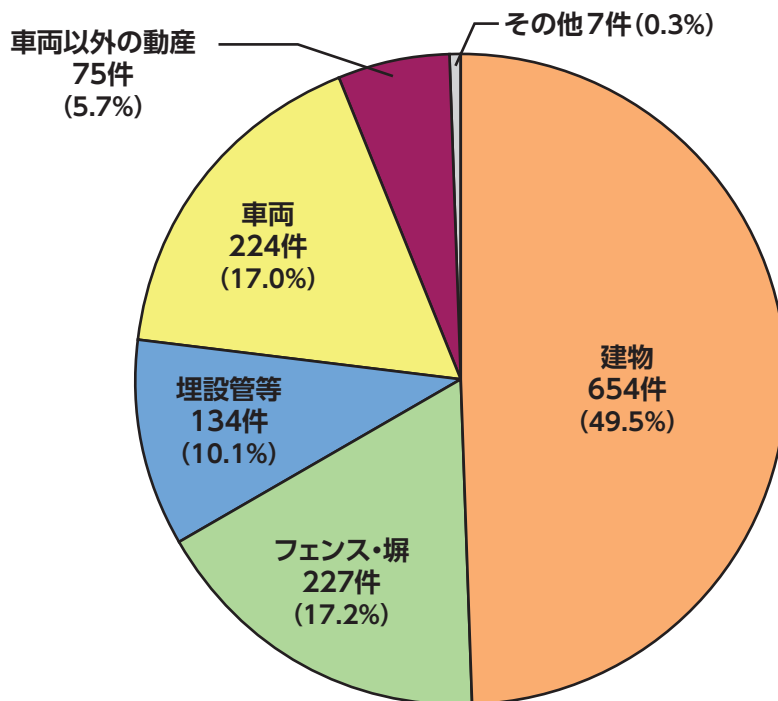


■青色は「お客様の敷地で容器運搬中」(1,230件(93.1%))の内訳

3.1.2 容器搬送作業の事故による被害状況

容器搬送作業中の事故を損害対象別にみると、建物外壁や雨樋などの建物が49.5%と約半数を占めており、次いでフェンス・塀（17.2%）、車両（17.0%）、埋設管等（10.1%）の順となっています。建物、フェンス・塀、埋設管等の不動産で8割近くを占めています。

容器搬送作業における事故
損害対象別(1,321件中)



3.1.3 容器搬送作業の事故事例（その1～お客様の敷地で容器運搬中～）

容器搬送作業「お客様の敷地で容器運搬中」の事故では、以下のような事故が多く発生しています。中には賠償金額が高額化した事例も見られます。

容器搬送作業に当たっては、あらかじめ搬入経路の確認や養生の実施などが重要です。

事故の特徴～どんな事故が起きているか～	摘要
① 容器交換中に容器を受水槽に接触させ損傷、濡れ損を発生	⇒ 事例 1 高額事故
② 空容器を運搬中に足を滑らせ転倒して階段柵と車両を損傷	⇒ 事例 2
③ 容器を担いで運搬中に容器を窓枠等に接触させ損傷	⇒ 事例 3
④ 容器運搬中に装着していた工具等で外壁を損傷	⇒ 事例 4
⑤ 容器を台車に乗せて運搬中に台車が接触し車両ドアを損傷	⇒ 事例 5

3.1.4 容器搬送作業の事故事例・詳細（その1～お客様の敷地で容器運搬中～）

事例1 容器交換中に容器を受水槽に接触させ損傷、濡れ損を発生

賠償金額：約398万円（令和元年12月発生）

容器交換中に容器置場に隣接して設置されている受水槽の側面に容器が接触し、受水槽に亀裂が入り水漏れを発生させた。

⇒事前に搬送ルートを十分に確認する。また、建物、物件等に接触することがないように、慎重に運搬する。



事例2 空容器を運搬中に足を滑らせ転倒して階段柵と車両を損傷

賠償金額：約97万円（令和2年2月発生）

容器交換終了後、空容器を運搬中に足を滑らせ転倒し、空容器を落としてしまい、階段の柵と階下の駐車中の車両を破損させた。

⇒容器運搬に当たっては、足元に十分注意しうえ慎重に行動する。

事例3 容器を担いで運搬中に容器を窓枠等に接触させ損傷

賠償金額：約72万円（令和元年8月発生）

30kg容器を担いで運搬中、風呂の窓が開いていることに気づかず通ったため、容器のスカート部を窓枠等にぶつけて破損させた。

⇒事前に搬送ルートを十分に確認する。また、障害物等がないか周囲の状況を確認する。



事例4 容器運搬中に装着していた工具等で外壁を損傷

賠償金額：約66万円（令和元年6月発生）

50kg容器を運ぶことに気をとられ、配送員が腰に装着していた工具等で外壁の数か所に傷を付けた。

⇒容器運搬中に作業員が所持する工具等が建物等に接触することがないように、慎重に行動する。

事例5 容器を台車に乗せて運搬中に台車が接触し車両ドアを損傷

賠償金額：約37万円（令和2年7月発生）

容器交換後、台車に容器を載せてドアから出ようとした際、台車の取っ手がドアに当たり傷を付けた。

⇒事前に搬送ルートを十分に確認する。また、台車が建物等に接触しないよう、慎重に運搬する。



3.1.5 容器搬送作業の事故事例（その2～運送中、トラック荷台からの容器積み下ろし中～）

容器搬送作業「運送中、トラック荷台からの容器積み下ろし中」の事故では、以下のような事故が発生しています。

事故の特徴～どんな事故が起きているか～	摘要
① トラックのあおりの固定を忘れて発進して容器が荷台から落下し車両を損傷	⇒ 事例6
② 容器をパワーゲートで降ろす際に落下させ車両を損傷	⇒ 事例7
③ トラック荷台から降ろす際に容器が倒れ車両等を損傷	⇒ 事例8

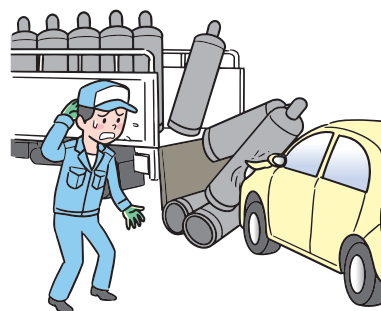
3.1.6 容器搬送作業の事故事例・詳細（その2～運送中、トラック荷台からの容器積み下ろし中～）

事例6 トラックのあおりの固定を忘れて発進して容器が荷台から落下し車両を損傷

賠償金額：約56万円（令和2年8月発生）

トラックのあおりの固定を忘れて発進したことにより、左折した際50kg容器3本、30kg容器3本、20kg容器2本が荷台から落下し、このうち50kg容器1本が被害車両に接触し破損させた。

⇒トラック発進前には、あおりやラッシングベルト等の状況を十分確認する。

**事例7** 容器をパワーゲートで降ろす際に落下させ車両を損傷

賠償金額：約42万円（令和3年2月発生）

容器をパワーゲートで降ろす際に荷台に容器がかかった状態で降下させてしまったため、容器が落下して駐車中の車両を破損させた。

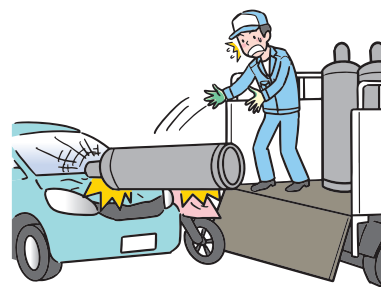
⇒容器をパワーゲートで降ろす際には容器の状態に十分注意する。

事例8 トラック荷台から降ろす際に容器が倒れ車両等を損傷

賠償金額：約34万円（令和元年9月発生）

50kg容器をトラック荷台から降ろす際に容器が倒れ、駐車中の車両・バイクを損傷させた。

⇒トラックの荷台から容器を降ろす際には、容器が倒れないように十分注意する。



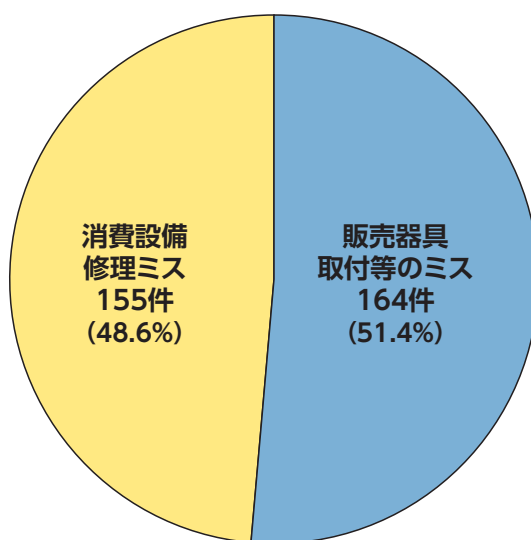
3.2 消費設備関連作業

消費設備関連作業の事故は、319件（15.2%）と容器搬送作業に次いで多く発生しています。

3.2.1 消費設備関連作業の事故概要

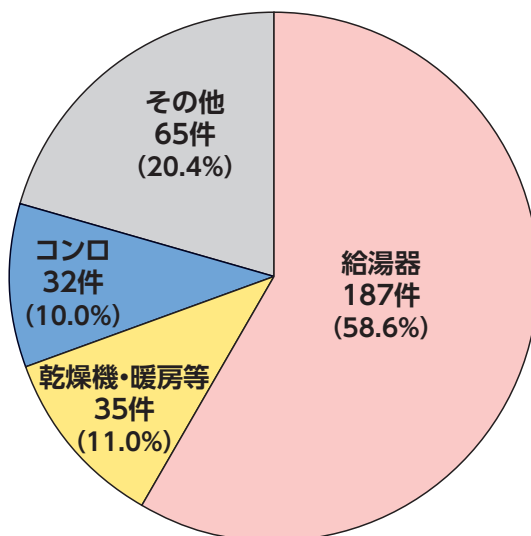
消費設備関連作業の事故を原因別にみると、販売貸与した器具の取付け等の際のミスと消費設備の修理中の事故がほぼ半々となっています。

消費設備関連作業における事故
原因別(319件中)



消費設備関連作業の事故を対象設備別にみると、給湯器が半数以上を占め、次いで乾燥機・暖房等、コンロの順となっています。

消費設備関連作業における事故
対象設備別(319件中)

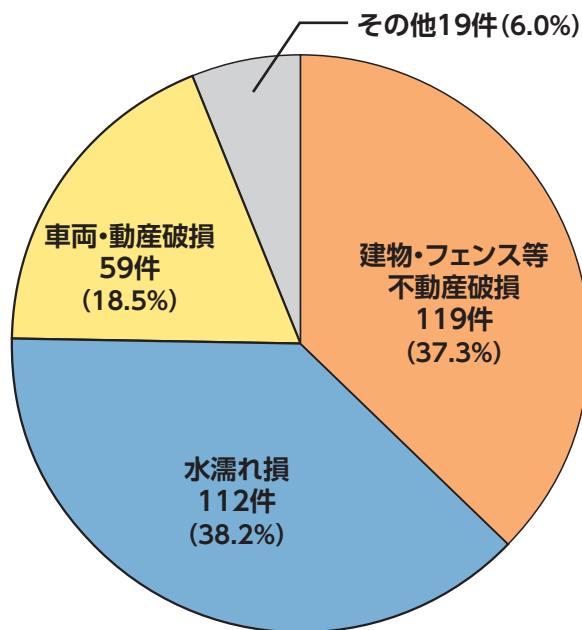


3.2.2 消費設備関連作業の事故による被害状況

消費設備関連作業の事故を損害対象別にみると、水濡れ損が38.2%と最も多く、次いで建物・フェンス・塀・埋設管等の不動産の破損(37.3%)、車両・その他の動産の破損(18.5%)の順となっています。

給湯器関連作業では給湯管の接続不十分等で漏水による水濡れ事故が頻発しています。

消費設備関連作業における事故
損害対象別(319件中)



3.2.3 消費設備関連作業の事故事例

消費設備関連作業の事故では、以下のような事故が発生しています。濡れ損が発生して賠償金額が高額化した事例も見られます。

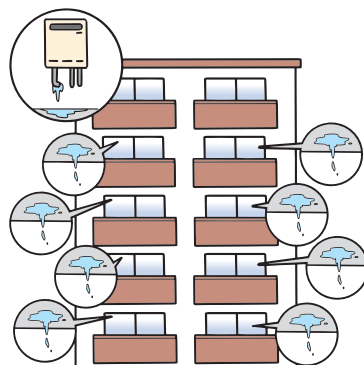
事故の特徴～どんな事故が起きているか～	摘要
① ガス給湯器交換時の設置不備により損傷して濡れ損発生	⇒ 事例9 高額事故
② ガス給湯管撤去の際に端末蛇口が開いたまま作業して濡れ損発生	⇒ 事例10 高額事故
③ ガスファンヒーター設置時の内壁の穴開けミスにより配管を損傷	⇒ 事例11 高額事故
④ 風呂釜修理後の点検作業の際に循環パイプ内にガスが溢れて小爆発が発生	⇒ 事例12
⑤ 湯沸かし器取付時の作業ミスにより水が噴出して顧客が目を負傷	⇒ 事例13

3.2.4 消費設備関連作業の事故事例・詳細

事例9 ガス給湯器交換時の設置不備により損傷して濡れ損発生

賠償金額：累計約417万円（令和元年8月発生）
 マンション5階1室の給湯器交換時の設置不備により破損・水漏れが発生し、階下4階から1階の各2室に濡れ損害を与えた。

⇒給湯器を設置する際は水漏れ等が発生しないよう慎重に行う。



事例10 ガス給湯器撤去の際に端末蛇口が開いたまま作業して濡れ損発生

賠償金額：約255万円（令和元年5月発生）
 ガス給湯器を撤去する際に、端末蛇口が開いている状況と分からず作業した結果、漏水により美容室に水濡れ損害を与えた。

⇒給湯器撤去の際は蛇口の状態を十分確認する。

事例11 ガスファンヒーター設置時の内壁の穴開けミスにより配管を損傷

賠償金額：約118万円（令和2年12月発生）
 ガスファンヒーター設置のため内壁に穴を開ける際に管の有無の確認を怠ったため、誤って配管を破損させた。

⇒壁の穴開け作業を行う際は、壁の中の管の有無を事前に配管図等で十分確認する。



事例12 風呂釜修理後の点検作業の際に循環パイプ内にガスが溢れて小爆発が発生

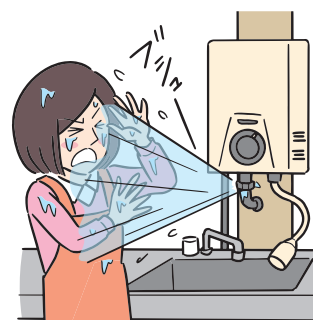
賠償金額：約30万円（平成30年10月発生）
 風呂釜修理のために訪問した顧客宅で修理後の点検作業を行った際、循環パイプ内にガスが溢れて小爆発が発生し、浴槽を破損させた。

⇒風呂釜修理の際には残留ガスへの引火に十分注意する。

事例13 湯沸器取付時の作業ミスにより水が噴出して顧客が目を負傷

賠償金額：約7万円（令和3年2月発生）
 湯沸器取付の際、ナットの締め付けが不完全だったため水が噴出した。噴出時に配管内のサビが顧客の目に入った。

⇒湯沸器設置の際はナットの締め付けを確実に行う。



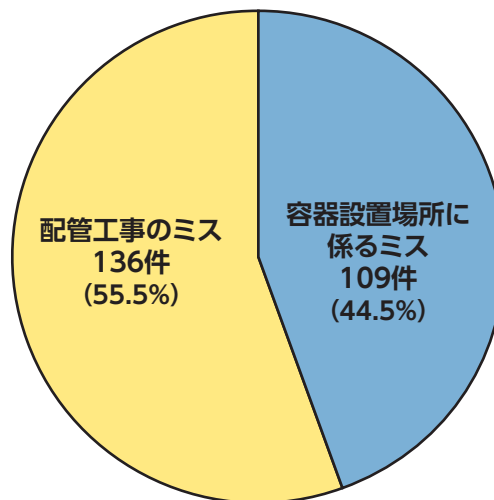
3.3 供給設備関連作業

供給設備関連作業の事故は、245件（11.7%）と容器搬送作業、消費設備関連作業に次いで多く発生しています。

3.3.1 供給設備関連作業の事故概要

供給設備関連作業の事故を原因別にみると、配管工事のミスが55.5%を占め、他は容器設置場所に係るミスとなっています。

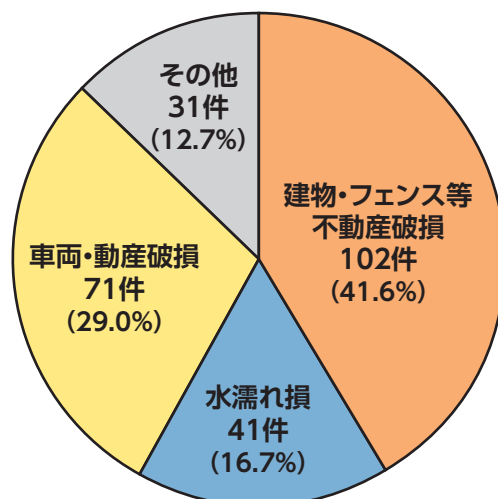
供給設備関連作業における事故
原因別(245件中)



3.3.2 供給設備関連作業の事故による被害状況

供給設備関連作業の事故を損害対象別にみると、建物・フェンス・塀・埋設管等の不動産の破損が41.6%と最も多く、次いで車両・その他の動産の破損（29.0%）、水濡れ損（16.7%）の順となっています。

供給設備関連作業における事故
損害対象別(245件中)



3.3.3 供給設備関連作業の事故事例

供給設備関連作業の事故では、以下のような事故が発生しています。
作業ミス、確認不足により、賠償金額が高額化した事例も見られます。

事故の特徴～どんな事故が起きているか～	摘要
① バルク貯槽引上げ時に接触して塀を損傷	⇒ 事例14 高額事故
② 過流防止弁の設定ミスによりガス供給を停止させ製造中の米が不良となった	⇒ 事例15 高額事故
③ ガス供給会社変更時の確認不足により、誤ってガス配管設備を撤去	⇒ 事例16 高額事故
④ ガス配管工事中に脚立によって外壁を損傷	⇒ 事例17
⑤ ガス容器保管庫のトタン屋根が飛び車両を損傷	⇒ 事例18

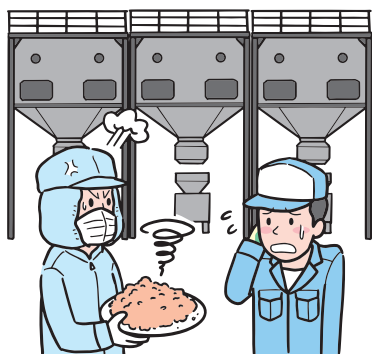
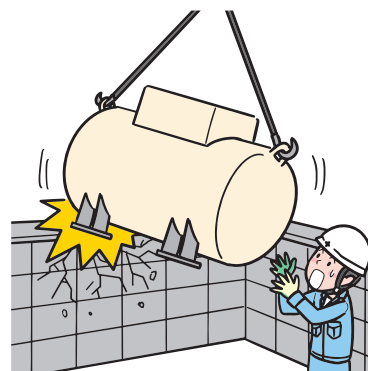
3.3.4 供給設備関連作業の事故事例・詳細

事例14 バルク貯槽引上げ時に接触して塀を損傷

賠償金額：約150万円（令和3年9月発生）

298kgバルク貯槽引上げの際に、塀の上部に接触して破壊し、塀全体の強度が下がったため、全面改修して原状回復させた。

⇒バルク貯槽引上げ作業に当たっては、周囲の状況を十分確認する。

**事例15** 過流出防止弁の設定ミスによりガス供給を停止させ製造中の米が不良となった

賠償金額：約145万円（令和2年12月発生）

過流出防止弁の設定を誤ったためガス供給が不安定になり停止してしまった。ガス切れにより製造設備が使用できなくなり、製造中の約4トンの米が不良となり商品化できなくなった。

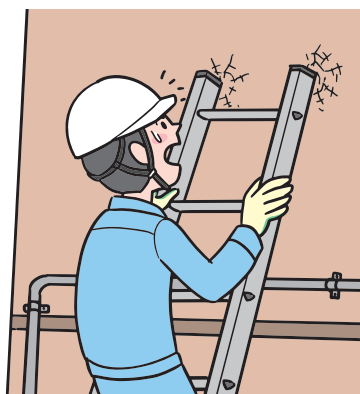
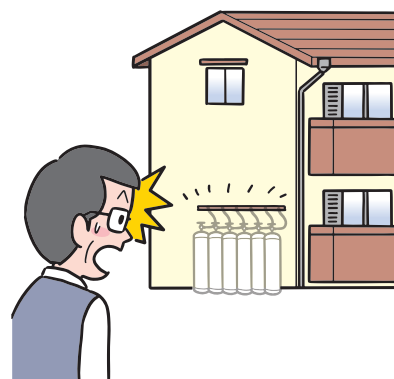
⇒過流出防止弁等の設定圧力は規定どおりの圧力設定を確実に行う。

事例16 ガス供給会社変更時の確認不足により、誤ってガス配管設備を撤去

賠償金額：約189万円（令和元年12月発生）

ガス供給会社変更時にガス配管設備の確認が不十分であったため、アパートのオーナー所有のガス配管設備を誤って撤去してしまった。

⇒ガス供給会社変更時にはガス配管設備の所有関係の確認を十分に行う。

**事例17** ガス配管作業中に脚立によって外壁を損傷

賠償金額：約89万円（令和3年9月発生）

ガス配管作業中、外壁に脚立を立てかけたことにより、外壁にキズ・凹み等の破損が発生した。

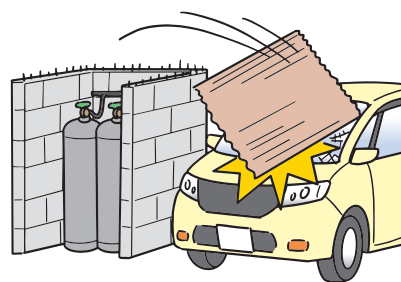
⇒配管作業中に建物等に損傷を与えないよう、慎重に作業を行う。

事例18 ガス容器保管庫のトタン屋根が飛び車両を損傷

賠償金額：約39万円（令和3年7月発生）

ガス容器を保管する倉庫のトタン屋根が腐食していたため風で飛び、敷地内駐車場に停めていた顧客の車に接触した。

⇒ガス容器保管庫自体の設備に腐食等がないか、保管場所の適正管理を行う。



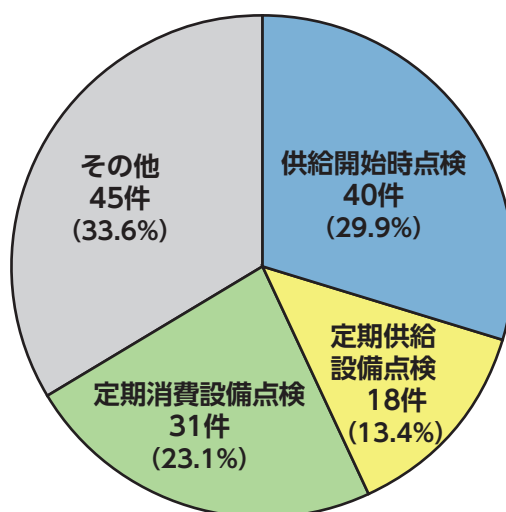
3.4 点検・調査関連作業

点検・調査関連作業の事故は、134件（6.4%）とそれほど多くはありませんが、ここでも水濡れ事故が多発しています。

3.4.1 点検・調査関連作業の事故概要

点検・調査関連作業の事故を作業工程別にみると、供給開始時点検が29.9%を占め、次いで定期消費設備点検（23.1%）、定期供給設備点検（13.4%）の順となっています。

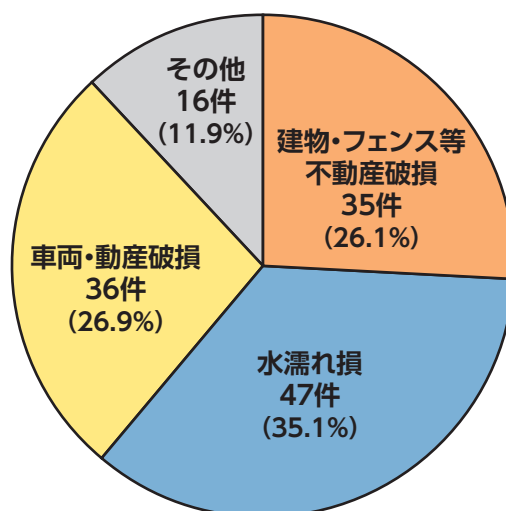
点検・調査関連作業における事故
作業工程別（134件中）



3.4.2 点検・調査関連作業の事故による被害状況

点検・調査関連作業の事故を損害対象別にみると、水濡れ損が35.1%と最も多く、次いで車両・その他の動産の破損（26.9%）、建物・フェンス・塀・埋設管等の不動産の破損（26.1%）の順となっています。

点検・調査関連作業における事故
損害対象別（134件中）



3.4.3 点検・調査関連作業の事故事例

点検・調査関連作業の事故では、以下のような事故が発生しています。

点検・調査関連作業のミス、確認不足により、賠償金額が高額化した事例が見られます。

事故の特徴～どんな事故が起きているか～	摘要
① ガス調整設備全体の更新・点検工事におけるミスにより多数の空調設備が故障したため、一斉に交換	⇒ 事例19 高額事故
② 入居前ガス検査時に配管内の水が凍結していたため水道栓を開放したままにした。後日解凍したことにより漏水して濡れ損発生	⇒ 事例20 高額事故
③ 開栓時の確認漏れにより給湯器から漏水し集合住宅内に濡れ損発生	⇒ 事例21 高額事故
④ 容器点検中にのぼり旗が倒れて車両を損傷	⇒ 事例22
⑤ ガスメータ交換作業時にガス供給が中断してエアコンが故障	⇒ 事例23

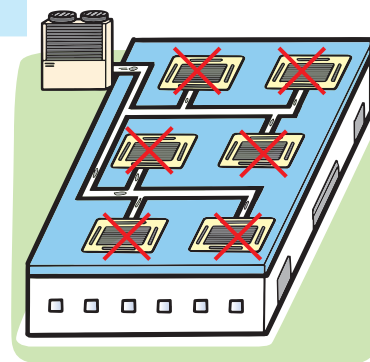
3.4.4 点検・調査関連作業の事故事例・詳細

事例19 ガス調整設備全体の更新・点検工事におけるミスにより多数の空調設備が故障したため、一斉に交換

賠償金額：約3,541万円（令和3年2月発生）

LPガス調整設備の更新・点検工事において、ガスを用いた空調システム部分（GHP）の冷媒配管の残留物洗浄に不備があり、25台の空調設備が故障したため、故障したすべての空調設備の交換工事を行った。

⇒更新・点検工事の際には、残留物の洗浄を十分行うなど、工程管理に十分注意する。


事例20

入居前ガス検査時に配管内の水が凍結していたため水道栓を開放したままにした。後日解凍したことにより漏水して濡れ損発生

賠償金額：約396万円（令和2年12月発生）

入居前ガス使用検査に訪問した際には配管内の水が凍結していて水抜き栓からの漏洩が起きずに気付かなかったため、水道元栓を開放したままにした。後日、解凍したことにより、元栓の通水が原因で水抜き栓から大量の水が漏洩して、フローリングや壁クロス等に漏水被害が発生した。

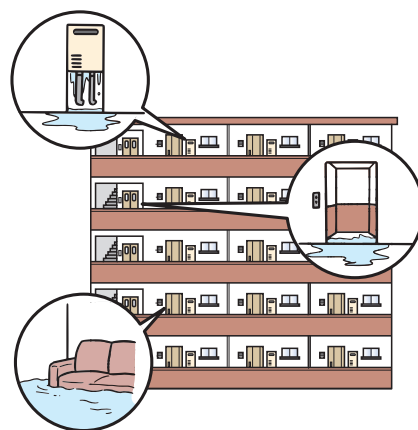
⇒開栓時の確認を確実にを行うなど工程管理に十分注意する。

事例21 開栓時の確認漏れにより給湯器から漏水し集合住宅内に濡れ損発生

賠償金額：約244万円（令和2年8月発生）

開栓時の確認漏れにより、給湯器本体の給水管接続部、水抜き接続部から漏水し、集合住宅共用部、エレベーター、階下室が浸水した。エレベーター・室内補修、引っ越し費用・家財の補償が発生した。

⇒開栓時の確認を確実にを行うなど工程管理に十分注意する。



事例22 容器点検中ののぼり旗が倒れて車両を損傷

賠償金額：約71万円（令和3年4月発生）

容器点検中ののぼり旗が倒れてしまい、駐車していた車両に損傷を与えた。

⇒点検時に立てるのぼり旗が倒れないように注意する。

事例23 ガスメーター交換作業時にガス供給が中断してエアコンが故障

賠償金額：約46万円（令和3年3月発生）

ガスメーター交換作業中、手違いでガス供給が中断してしまい、稼働中のガスヒートポンプエアコンに負荷がかかり故障した。

⇒ガスメーター交換作業を行う際の工程管理に十分注意する。



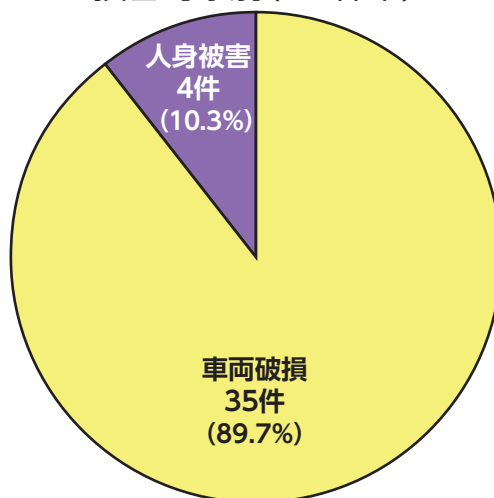
3.5 LPガススタンド関連作業、その他

LPガススタンド関連作業の事故は、39件（1.9%）とそれほど多くはありませんが、賠償金額が高額化した事例が見られます。

3.5.1 LPガススタンド関連作業の事故による被害状況

LPガススタンド関連作業の事故を損害対象別にみると、車両破損が9割近くを占めており、他は人身被害となっています。

LPガススタンド関連作業における事故
損害対象別（39件中）



3.5.2 LPガススタンド関連作業、その他の事故事例

LPガススタンド関連作業、その他の事故では、以下のような事故が発生しています。ガス充てん後にトランクを閉める際に運転手に負傷を負わせる事故が発生しており、充てん作業後の注意確認が重要となっています。

また、配送スケジュールの設定ミスなどにより、ガスの供給不能となった事例では、賠償金額が高額なものも見られます。

事故の特徴～どんな事故が起きているか～	摘要
① ガス充てん作業中にグリスが混入してエンジンが停止し、多数のタクシーを修理（スタンド）	⇒ 事例24 高額事故
② 作業員のミスにより充てんホースを接続したまま発進させたことにより車両を損傷（スタンド）	⇒ 事例25
③ 作業員が充てん後に十分確認せずにトランクを閉めたため、運転手が負傷（スタンド）	⇒ 事例26
④ 配送スケジュールの設定を誤ったためガスが切れて、多数の鶏の雛が死亡（その他）	⇒ 事例27 高額事故
⑤ 配送員の配送日設定のミスによりガス欠となり、麩菓子原材料を廃棄処分（その他）	⇒ 事例28 高額事故

3.5.3 LPガススタンド関連作業、その他の事故事例・詳細

事例24 ガス充てん作業中にグリスが混入してエンジンが停止し、多数のタクシーを修理（スタンド）

賠償金額：約1,057万円（平成30年7月発生）

ガス充てん作業に伴いカップリングにグリスを塗っていたため、ガス充てん時にグリスが混入しエンジンが停止する事故が発生し、タクシー61台を修理することになった。

⇒グリスを使用せず、使用可能なエンジンオイルを塗布する。



事例25 作業員のミスにより充てんホースを接続したまま発進させたことにより車両を損傷（スタンド）

賠償金額：約37万円（令和3年2月発生）

スタンド内でタクシーにプロパンガスを充填後、作業員のミスにより充填ホースを接続したまま運転手が車両を発進させた。充填ホースが外れて車両に接触し破損させた。

⇒車両発進の際は充てんホースが取り外し済みか十分に確認する。

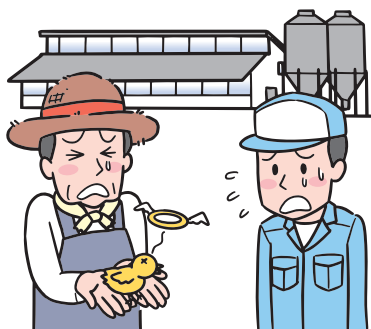


事例26 充てん後に十分確認せずに作業員がトランクを閉めたため、運転手が損傷（スタンド）

賠償金額：約3万円（平成31年1月発生）

ガス充てん後に確認せずにトランクを閉めたため、荷物を取ろうとしたタクシー運転手が挟まり負傷した。

⇒トランクを閉める際は周囲の確認を十分に行う。



事例27 配送スケジュールの設定を誤ったためガスが切れて、多数の鶏の雛が死亡（その他）

賠償金額：賠償金額：約248万円（令和2年9月発生）

配送計画を立てる段階で配送スケジュールを誤ったため、ガス切れが発生して鶏の雛26,000羽が死亡した。

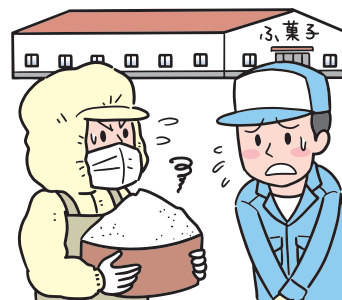
⇒ガスの供給に支障が生じることがないような配送計画、スケジュールを立てる。

事例28 配送員の配送日設定のミスによりガス欠となり、麩菓子原材料を廃棄処分（その他）

賠償金額：約145万円（令和3年1月発生）

グループ配送会社のガス配送員の配送日設定ミスによりガス欠となり、製造麩菓子の原材料が廃棄処分となった。

⇒ガスの配送が遅れてガスの供給に支障が生じることのないように十分留意する。



＜都道府県協会連絡先＞

	支部 (協会名)	〒	住 所	電話番号
東 日 本 地 区	一般社団法人 北海道LPガス協会	003-0013	札幌市白石区中央三条3-1-40	011-812-6411
	一般社団法人 青森県エルピーガス協会	030-0802	青森市本町2-4-10 田沼ビル内	017-775-2731
	一般社団法人 秋田県LPガス協会	010-0951	秋田市山王3-1-7 東カン秋田ビル3F	018-862-4918
	一般社団法人 岩手県高圧ガス保安協会	020-0015	盛岡市本町通1-17-13	019-623-6471
	一般社団法人 山形県LPガス協会	990-0025	山形市あこや町1-2-12 2F	023-623-8364
	一般社団法人 宮城県LPガス協会	980-0014	仙台市青葉区本町3-5-22 宮城県管工事会館5F	022-262-0321
	一般社団法人 福島県LPガス協会	960-1195	福島市上鳥渡字蛭川22-2	024-593-2161
	一般社団法人 栃木県LPガス協会	321-0941	宇都宮市東今泉2-1-21 栃木県ガス会館	028-689-5200
	一般社団法人 茨城県高圧ガス保安協会	310-0801	水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館12F	029-225-3261
	公益社団法人 千葉県LPガス協会	260-0024	千葉市中央区中央港1-13-1 千葉県ガス石油会館内	043-246-1725
	一般社団法人 埼玉県LPガス協会	330-0063	さいたま市浦和区高砂1丁目2番1-410号 エイベックスタワー浦和オフィス東館	048-823-2020
	一般社団法人 群馬県LPガス協会	371-0854	前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル6F	027-255-6121
	一般社団法人 東京都LPガス協会	160-0022	新宿区新宿1-36-4 丁子屋ビル4F	03-5362-3881
	公益社団法人 神奈川県LPガス協会	231-0003	横浜市中区北仲通3-33 共済ビル別館内	045-201-1400
	一般社団法人 新潟県LPガス協会	951-8131	新潟市中央区白山浦1-636-30 新潟県中小企業会館内	025-267-3171
	一般社団法人 長野県LPガス協会	380-0935	長野市中御所1-16-13 天馬ビル4F	026-229-8734
	一般社団法人 山梨県LPガス協会	400-0035	甲府市飯田1-4-4 ヒロセビル2F	055-228-4171
	一般社団法人 静岡県LPガス協会	420-0064	静岡市葵区本通6-1-10 静岡県プロパン会館3F	054-255-2451
	一般社団法人 愛知県LPガス協会	460-0011	名古屋市中区大須4丁目1番70号 TANAKA名古屋ビル5F	052-261-2896
	一般社団法人 三重県LPガス協会	514-0803	津市柳山津興369番地の2	059-227-6238
一般社団法人 岐阜県LPガス協会	500-8384	岐阜市藪田南5-11-11 岐阜県LPG会館	058-274-7131	
一般社団法人 富山県エルピーガス協会	930-0004	富山市桜橋通り6-13 富山フコク生命第一ビル4F	076-441-6993	
一般社団法人 石川県エルピーガス協会	920-8203	金沢市鞍月2丁目3番地 石川県鉄工会館3F	076-254-0634	
西 日 本 地 区	一般社団法人 福井県LPガス協会	918-8037	福井市下江守町第26号35番地4	0776-34-3930
	一般社団法人 滋賀県LPガス協会	520-0807	大津市松本1-2-20 滋賀県農業教育情報センター2F	077-523-2892
	一般社団法人 京都府LPガス協会	601-8306	京都市南区吉祥院宮ノ西町9-1 KONAビル2F	075-314-6517
	一般社団法人 奈良県LPガス協会	630-8132	奈良市大森西町13-12 奈良県エルピーガス会館2F	0742-33-7192
	一般社団法人 和歌山県LPガス協会	640-8341	和歌山市黒田102-1	073-475-4740
	一般社団法人 大阪府LPガス協会	541-0055	大阪市中央区船場中央2-1 船場センタービル4号館405号	06-6264-7888
	一般社団法人 兵庫県LPガス協会	650-0011	神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター5F	078-361-8064
	一般社団法人 鳥取県LPガス協会	680-0911	鳥取市千代水1丁目133	0857-22-3319
	一般社団法人 岡山県LPガス協会	700-0985	岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所5F	086-225-1636
	一般社団法人 島根県LPガス協会	690-0886	松江市母衣町55番地4 島根県商工会館7F	0852-21-9716
	一般社団法人 広島県LPガス協会	733-0812	広島市西区己斐本町3-8-5 広島県LPガス会館	082-275-1804
	一般社団法人 山口県LPガス協会	753-0074	山口市中央4-5-16 山口県商工会館内	083-925-6361
	一般社団法人 徳島県エルピーガス協会	771-0134	徳島市川内町平石住吉209-5 徳島健康科学総合センター4F	088-665-7705
	一般社団法人 香川県LPガス協会	760-0020	高松市錦町1丁目6番8号	087-821-4401
	一般社団法人 高知県LPガス協会	780-8031	高知市大原町80-2 高知県石油会館	088-805-1622
	一般社団法人 愛媛県LPガス協会	790-0003	松山市三番町6丁目7-2	089-947-4744
	一般社団法人 福岡県LPガス協会	812-0015	福岡市博多区山王1-10-15	092-476-3838
	一般社団法人 佐賀県LPガス協会	840-0804	佐賀市神野東2丁目2-1 フルカワビル5F	0952-20-0331
	一般社団法人 長崎県LPガス協会	850-0055	長崎市中町1-26 NAGASAKI中町ビル7F	095-824-3770
	一般社団法人 大分県LPガス協会	870-0901	大分市西新地1-9-5 大分県LPガス会館	097-558-5483
一般社団法人 熊本県LPガス協会	862-0951	熊本市中央区上水前寺2-18-4	096-381-3131	
一般社団法人 宮崎県LPガス協会	880-0912	宮崎市大字赤江字飛江田774 宮崎県エルピーガス会館内	0985-52-1122	
一般社団法人 鹿児島県LPガス協会	890-0064	鹿児島市鴨池新町5-6 鹿児島県プロパンガス会館2F	099-250-2535	
一般社団法人 沖縄県高圧ガス保安協会	901-0152	那覇市宇小禄1831-1 沖縄産業支援センター4F	098-858-9562	



発行 一般財団法人 全国LPガス保安共済事業団
〒105-0004 東京都港区新橋1-18-6 共栄火災ビル9階
電話 (03)3593-8071 FAX (03)3593-8074

令和4年5月作成